

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

46

2016/04



診察時、電子化されたデータや画像を自分の目で見て確認することができます。

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【電子カルテによる診察風景】

当院は、平成15年に電子カルテ導入に着手し、翌年3月には外来・入院カルテをすべて電子化致しました。この地域では、まだ電子化されている施設はなく、早期の導入でした。当時は、カルテや指示の内容が読みやすくなり、どこからでも閲覧できることから、カルテを持ち運ぶ必要も無く、大変便利になったように感じていました。しかし、10年も経過すると、色々不具合も発生してきました。また、外来の番号表示システムなど、

便利な機能が開発されていたので、昨年の12月に念願のバージョンアップを行いました。電子カルテの操作にはある程度慣れていましたが、機能が進化すると共に操作も複雑化して、スタッフは慣れるまで多少時間を要しました。特に年末年始は、移行期であったため患者さんにもご迷惑をお掛けしましたが、現在はほぼ通常通りに戻ってきています。

今回のカルテは、様々な便利機能も備えてい

ますので、各部署での活用状況をご紹介します。

受付がスムーズになり各診療科へ早くカルテが届くようになりました

先ず皆様を受診に来られたら、受付をしていただきます。当院は今までも電子カルテでしたが、新カルテシステムは処理速度も数段早くなりました。



患者さんの情報を
迅速に医師に伝えることができます。

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【記録もベッドサイドで】

患者さんのカルテがサッと表示されるので、準備に時間がかからなくなり、各診療科へ速く届くようになりました。現在、患者さんには受診票を持って動いていただくという“ひと手間”をお願いしていますが、「今までは本当に受付されたのか、会計にカルテが届いているのか不安だったが、自分で持って行くので安心だ」というご意見も頂戴す



再診予約の受付が簡単に

るなど、大きなトラブルもなく導入することができました。また、お見舞いの方のご案内においても、入院患者さんの情報が端末で確認できるため、スムーズに行えるようになりました。

外来では、情報の一元化により、 検査結果をできるだけ その日のうちにお返します

今回の電子カルテは、医師が指示を入力すると直接検査科、放射線科に届くので、複数の端末から情報が確認でき、進行状況により微調整が可能となりました。検査結果の参照も迅速で、採血の結果も検体提出後30分以内には外来で確認でき、また、CT検査などは撮影が終了し、



画像を見ながら治療方針を検討

診察室に來られた時点で、モニターで画像を見ることができますので、その日のうちに結果を聞いて帰る事ができます。ただ、医師がパソコンと向かい合っている時間が長くなり、患者さんに向き合う時間が少なくなる傾向にあるので、現在一部の診察室に医療事務を補佐する人を配置し対応しています。将来は全ての診察室に配置したいと考えています。待ち時間については、徐々に減少傾向にあります。救急日など曜日によっては、待ち時間が長くなっており、ご迷惑をお掛けしています。療養指導の充実を図るなどの待ち時間の有効活用と、少しでも時間短縮ができるように努めて参ります。

ベッドサイドで端末を使用することで 医療者間の情報共有が早くなりました

パソコンを病室で使用することで、患者さんの情報をすぐに入力することができ、情報を早く医師に伝えることが可能となり、また、患者さんのご質問にも対応しやすくなりました。症状や検査・治療内容、処置が1ページに反映され、全体像が分かりやすくなり、医師の指示もその場で受け

ることができるので、処置も早く行うことができます。注射を行う際には、リストバンドのバーコードを読み取ることで、患者さんの確認ができ、更に安全性が高まりました。



リストバンドでお名前を確認

医師の指示が入力と共に 閲覧できるため、食事の準備に 早く取りかかれます

医師が入力した食事指示が直接栄養科に届くので、準備に早く取りかかると共に、指示の漏れが無くなりました。また、情報の一元化により、患者さんのアレルギーや病状が速やかに把握でき



個別での食事指導

るようになると共に、栄養評価が容易になり、栄養計画の作成に活用しています。食事摂取量もパソコンで確認できるため、看護師と連携し、摂取量の増加や栄養状態の改善に努めています。栄養指導の予約状況も容易に把握できるため、スムーズな予約に繋がっています。

オーダーリングシステム導入に伴い、検査の準備に早く取りかかれるようになりました

今回の電子カルテシステムでは、すべての検査の依頼状況が事前に分かるようになり、前もって検査の準備が行なえることで、より早く検査依頼に対応することが出来るようになりました。検査項目に応じた採血管や必要な採血量をシステムで管理できるようになったため、過不足のない採血量管理が行えるようになり、結果も早くお返しできるようになりました。

レントゲンの追加オーダーにも迅速に対応できるようになりました

追加指示が出ても入力に対応できるようになったため、患者さんに再度足を運んでもらう回数が減りました。撮影が終了したら撮影結果がリンクし、診察室で分かるようになっており、患者さんに画像を見てもらいながら、説明を行うことができます。

薬剤情報を一元化することで、医師が薬の種類や量の適正について判断しやすくなっています

新しい電子カルテシステムでは、患者さんの情報を早く知ることが出来るようになり、肝臓や腎臓の状態により、お薬の種類や量が適切であるかの判断がしやすくなり、服薬指導もスムーズに行えるようになりました。また、多職種で共有すべきと

判断した情報を電子カルテに記載することで、各部門との連携がスムーズとなり、患者さんのサポートに役立っています。

このように、電子カルテの最大メリットは医療チームの情報共有にあります。診療上の問題点も多く指摘されています。患者さんときちんと向き合って診察することは、診療上忘れてはならないことですが、どうしてもパソコン画面に向かってしまいがちになります。現在病棟でも、看護師が病室でパソコンを使用し記録いたしますので、同様のことが起こる可能性があります。医療の現場でも、多くのことが電子化されて便利になってきていますが、医療は観察に始まり観察に終わると言われるように、常に患者さんと対面し、五感を使って診療・ケアに当たることが重要です。便利になった電子カルテシステムを活用しつつ「思いやり」と「優しさ」のある良質で安全な医療の提供を目指して職員一同努力して参ります。

からだに効く
レシピ

Point
桜の塩漬けの
塩抜きを忘れないように!
お花見しながら
桜のゼリーを
食べてみるのも
一興ですね。

大洲中央病院栄養科


春のおもてなしデザート 桜のゼリー

■材料 (5人分)

- 桜の花の塩漬け(市販)..... 10枚
- 粉ゼラチン.....1袋(5g)
- 水.....大3
- 上白糖.....大4
- 水.....1と2分の1カップ

■作り方

- ①桜の塩漬けは水につけて20~30分塩抜きをする。塩抜きを終えたら、ペーパーなどで水気を切り、軸を切っておく。
- ②分量の水にゼラチンを入れてふやかしておく。
- ③鍋に水と砂糖を入れて火にかけ、砂糖が溶けたら火を止め、濡れ布巾の上に鍋を置く。
- ④③にふやかしたゼラチンを入れ溶かし、ボウルに移す。粗熱がとれたら桜の花を入れる。
- ⑤④を氷水にあてながら冷まし、とろみがついてきたら器によそい、冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑥ゼリーが固まったら出来上がり★





すぐそばにある絵画
院内美術館 ⑮



目鍵連



摩訶迦葉

『釈迦十大弟子二菩薩(目鍵連、摩訶迦葉)』
棟方志功 作

“世界のムナカタ”と
ならしめた全12点の大作

棟方志功の代表作であり、二菩薩と、釈迦10人の高弟の姿を彫った『釈迦十大弟子二菩薩』。全12点からなるこの作品を6回に分けてご紹介しています。5回目となる今回は、1Fエレベーター横にある「目鍵連」と「摩訶迦葉」です。棟方の真骨頂である白と黒の絶対的対比からなる力強い版画を、ぜひ一度ご覧ください。



棟方志功(むなかたしこう) / 1903年青森県生まれ。 / 1956年ヴェネツィア・ビエンナーレ国際版画大賞受賞

次号は棟方志功『釈迦十大弟子二菩薩(全十二点)』より「普賢菩薩、文殊菩薩」をご紹介します。

健康講座

■会場 大洲中央病院 2階 第一研修室

■時間 午後2:00~3:00

※都合により内容が一部変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
※場所を変更場合があります。

【開講予定】

◎5月26日(休)

「メタボ(メタボリックシンドローム)」といわれたら内科医師
すっきりボディ塾(食事編)栄養士

◎6月23日(休)

マダニ対策、今できること外科医師
腰痛予防リハビリテーション科

参加自由
入場無料

愛媛県老人保健施設協議会 支援相談員研修会に参加

平成28年1月30日(土)に伊予病院にて上記研修会が開催され、「いま老健施設に求めること～地域からの声～」というテーマで、それぞれ立場の違う職種の方の声を聞かせて欲しいとの趣旨のもと、東予地区からは在宅支援で活躍されているケアマネージャー、中予地区からは行政機関の担当者、南予地区からはMSWの立場で私がお話をさせていただきました。その後、各老健施設の相談員の方々と公開討論会が行われました。国が掲げている「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、様々な職種の方々が、自分たちの役割を十分果たすことが、それぞれの地域で「包括ケアシステム」を構築させることにつながると思います。今回参加させていただいた研修会では、保健・医療・福祉の分野が手を取り合って、力を合わせて支援を行っていくことの重要性を改めて認識させていただく良い機会となりました。



地域医療連携室 室長 池田 辰也

愛媛看護研究学会で発表

2月20日ひめぎんホールにて愛媛県看護協会主催の第35回愛媛看護研究学会が開催されました。日頃自分たちが行っている看護の成果を発表する場であり、今回は本館4階病棟から在宅復帰に向けての取り組みを発表しました。患者さんは、一時は寝たきり状態でしたが「家に帰りたい。口から食べたい。」という思いを強く持っておられ、日々のケアの中で出来ることから日常生活動作の訓練を行い、無事に自宅退院できました。退院時にはとても嬉しそうに帰っていかれるお姿に感動を覚える事例でした。この経験を通して、私たちは諦めず小さなことから成功体験を積み重ねていくこと、患者さん・ご家族とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことの重要性を改めて学ぶことができました。

発表後の総評でも、日々の丁寧なケアから可能性を見出しアプローチしていくことの重要性を評価して頂き、自分達の看護に対する成果を実感することが出来ました。今後も「小さな変化を見逃さず、諦めないでケアする」ことをモットーにチームで頑張っていきたいと思えます。



本館4階病棟 看護師 大西 久美子

院内ソフトバレーボール大会に 参加しました

平成28年1月19日、大洲市総合体育館に於いて院内ソフトバレーボール大会が開催されました。当日は雪が降り寒い日でしたが、60名もの参加があり、8チームに分かれて東・西ブロック4チームずつの総当りで予選が行われました。私達本館3階病棟は、看護師・ヘルパーが各3名参加し、他部署の方と一緒にチームを組みました。なかなかのチームワークで予選を勝ち残り、決勝は各ブロック上位2チームずつの計4チームによるトーナメントで戦いました。最初は、勝ち負けなど関係なく楽しくできればいいと思って参加しましたが、なんと優勝してしまい、個人的にも特別賞をいただくなど、本当にうれしい一日となりました。これに参加して、普段はなかなか話ができない他部署のメンバーと一緒に、笑ったり怒ったり楽しい時間を過ごすことができ、寒さに縮こまっていた身体もホカホカになり笑顔の多い大会でした。



本館3階病棟 看護師 坂本 文代

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	近藤 誠司	休診日	大久保啓二※	大久保啓二※	近藤 誠司	大久保啓二
	2診	山上 隆司		山上 隆司	井上 明子	山上 隆司	山上 隆司
	3診	井上 明子		井上 明子	近藤 誠司	大久保啓二	非常勤
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹		森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨
	3診				武内 成禮	武内 成禮	
整形外科	1診	栗田 英明		冲永 昌弘	栗田 英明	冲永 昌弘	冲永 昌弘
	2診						栗田 英明
泌尿器科		清水 公治		清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1診(新患)	西原 潤		西原 潤	藤原 聡	山下 大介 (隔週)	藤原 聡
	2診(再診)	藤原 聡		藤原 聡	西原 潤		西原 潤

※5月より脳神経外科・土曜日 末廣諭先生に変わり、瀬野利太先生になります。

受付時間	午前8時00分～午前11時30分
診療開始時間	午前9時00分～ <small>担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり) ※は、予約診療になっています。</small>
休診日 (4～7月)	救急診療のみ……4月29日(金) 休診日……火曜、水曜、5月5日(木)、7月18日(月)
お見舞い・面会時間	午後1時00分～午後9時00分

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

編集後記

桜の花も満開で、吹く風も暖かく感じられる季節になりました。冬の間は外出を控えていたり、暖房器具と仲良くしてついつい運動不足になりがちでしたが、暖かい日には外に出てお散歩など、ちょっと体を動かしてみるのもいいですね。一方、季節の変わり目は、体調を崩しやすい時期でもあり、特に花粉症の方にはつらい時期でもありますが、気持ちいいこの季節をおもいっきり楽しみましょう。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集/広報委員会

- 寺尾 光司(事務部長・理事)/
- 京河 雅史(放射線科)/伊場 紀子(看護副部長)/
- 山下 恵里(看護部)/
- 福田 修治(リハビリテーション科)/
- 大西 修平(リハビリテーション科)/
- 松本 奈緒(総務課)/平田 香奈(栄養科)